

薬用植物園だより

2024年

11月

リゅうたん・リゅうたん・・・リンドウ?!

リンドウ (リンドウ科)

Gentiana scabra Bunge var. *buergeri* (Miq.) Maxim. ex Franch. et Sav.



部位	根及び根茎
生薬名	竜胆 (リュウタン) 局方収載
成分	ゲンチオピクロシド (セコイリドイド, 苦味配糖体) ゲンチシン (キサントン誘導体, 黄色色素)
薬理	抗炎症作用, 胃液分泌亢進作用
薬能	清熱燥湿薬
漢方	竜胆瀉肝湯、疎経活血湯など

日本では本州、四国、九州に分布する多年草。日当たりを好みますが、夏は日焼けを起こします。当園ではチガヤと共生させ暑さが過ぎるとチガヤを刈り取り、日に当てて管理しています。秋の山野草の代表格ですが、万葉集に詠まれた秋の七草には入っていません。菊もそうですが、秋の七草の開花時期よりも遅いことが理由かもしれません? 薬用部位は主に根で生薬・竜胆として利用しますが、この竜胆の基原植物はトウリンドウ *Gentiana scabra* Bunge, *G. manshurica* Kitagawa又は *G. triflora* Pallasが正式で本種と少し異なります。ヨーロッパには黄色い花を付けるゲンチアナ (*G. lutea*) が西洋薬の苦味健胃薬として日本で利用されました。日本では、ゲンチアナの代用薬として利用されるようになりましたが、本来は漢方薬などに配合される生薬です。「リンドウ」は「竜胆 (リゅうたん)」の音が転訛したものと考えられています。

クミスクチン (シソ科)

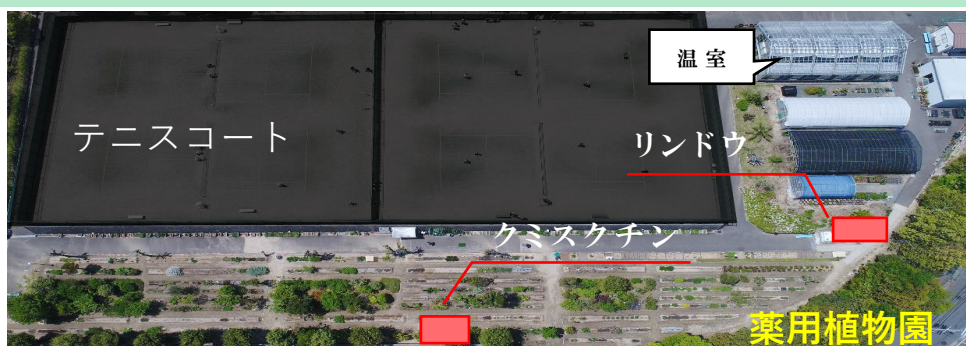
東南アジアでは超有名な健康茶!

Orthosiphon aristatus (Blume) Miq.



部位	茎および葉 (中国名では腎茶)
成分	ロスマリン酸 (カフェー酸誘導体)、 シネンセチン (メトキシフラボン) など
用途	健康茶
薬理	利尿作用、抗炎症作用、腎機能改善作用
漢方	漢方処方には使用されない

中国南部、東南アジア、オーストラリア北部など熱帯原産の多年草。寒さに弱く、本州では一年草の扱いをします。当園では挿し木苗を温室で越冬させています。長く伸びる4本の雄しべと1本の雌しべが猫の髭に似ていることからマレー語のクミス (Kumis 髭)、クチン (Kuching 猫) が名前の由来です。和名はそのままマレー語が用いられています。別名でネコノヒゲとも呼ばれます。インドネシア等では有名な民間薬で腎炎や尿路結石などに用いられます。また、中国では高尿酸血症に用いられます。漢方でも慢性腎炎の治療に漢方薬に加える先生もおられるようですが、利尿効果のある健康茶として有名です。沖縄地方でも栽培され、お土産店でよく見かけます。



ホームページでも
ご覧いただけます